

安全安心な米作りは優良種子から

平成30年播種用 採種圃産 水稻種子の
品質・注意事項

注意して下さい！

「そらゆたか」（空育181号）は
飼料用米生産だけに使用できます！

採種圃産水稻種子のコンセプト

- ◆採種圃産水稻種子の生産・出荷は、「集団専門栽培採種圃設置管理者及び生産・管理出荷基準」を設け、この基準を遵守しています。
- ◆種子の純度を確保するため、主要品種については、採種圃からの原料買入れ前および製品製造後の2度にわたりDNA鑑定を実施し、適正と判断された種子を製品として供給しています。

種子は毎年更新しましょう！

（北海道米あんしんネット、
種子更新100%が産地評価の基本です）

平成29年採種圃産種子の品質・注意事項

◆平成29年産種子の粒厚は「**平年並み**」ですが、**播種機の播種量調整には、十分気を付けて下さい。**

◆浸種・催芽等は注意事項を厳守し、催芽状態を十分確認してから播種願います。
◆いもち病の徹底防除に向け、水稻採種組合では、種子消毒・育苗箱施用・水面施用・基幹防除のフルコース防除を実施するとともに、発生予察による早期対策の徹底および地域の普及センターと連携した巡回強化に取り組んでいます。

◆採種組合では、**苗代で発生する白子(アルビノ)や縞の苗等を、できる限り丁寧に抜き取っています。**

《 備 蓄 種 子 》

- ◆採種圃産水稻種子の安定供給のため、計画的な種子生産事業に取り組んでいます。平成30年播種用種子として、平成28年産備蓄種子も供給されることをご理解願います。
- ◆備蓄種子は、5℃の専用定温貯蔵庫で保管され、出荷に当たっては発芽試験を行い、発芽率90%以上の種子を出荷しています。

備蓄種子取扱い上の留意事項

1. 種子消毒は必ず実施する。
2. 浸種・催芽方法は下記の「未消毒種子の浸種・催芽」に準ずる。
3. 同一品種でも、年産別等に区分し別々の袋に入れて浸種する。

●表1 平成30年播種用種子の発芽勢・発芽率●

(発芽試験：平成30年2月滝川水稻種子センター実施)

品 種	平成28年産採種			平成29年産一般採種			平成29年産消毒済み種子		
	水分 %	発芽勢 %	発芽率 %	水分 %	発芽勢 %	発芽率 %	水分 %	発芽勢 %	発芽率 %
ななつぼし	14.7	90.0	97.9	14.9	95.9	97.5	15.6	95.4	97.5
ゆめぴりか	14.9	92.3	96.2	15.0	96.8	97.6	15.8	97.4	98.3
ふっくりんこ	14.8	95.9	97.3	14.9	96.6	97.4	15.7	95.2	97.7
おぼろづき	15.0	93.9	97.8	14.8	95.9	97.8	15.6	94.9	98.1
ほしのゆめ	14.6	95.1	97.9	-	-	-	-	-	-
きらら 397	14.7	96.0	98.8	14.9	95.1	97.2	15.5	96.7	98.4
きたくりん	14.6	99.5	99.9						
ほしまる	14.6	93.7	97.0						
大地の星	14.5	94.3	97.0						
そらゆき							-	-	-
ゆきひかり							-	-	-
あやひめ	14.8	80.2	97.9	-	-	-	-	-	-
吟風							-	-	-
慧星	14.6	86.2	97.1	-	-	-	-	-	-
きたしずく							-	-	-
はくちょうもち	15.2	89.0	98.5	15.2	95.5	97.3	15.5	95.7	97.2
風のゆもち	15.0	94.5	99.0	15.2	96.8	97.8	15.7	96.6	98.1
きたゆきもち	15.2	96.0	99.0						
きたふくもち	15.1	95.0	98.0				-	-	-
そらゆたか(飼)	14.4	94.2	96.9	14.2	96.7	97.6	15.0	96.5	98.6

※平成29年産採種で記載のないデータについては、別途ホクレンより連絡致します。

未消毒種子の浸種・催芽

- ◆ばか苗病が増加しています！
- ◆種子消毒は必ず実施願います！

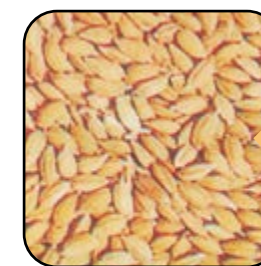
- ◆循環式催芽機を使用して催芽する場合は、必ず食酢を用いて消毒する。
- ◆温湯消毒は、60℃10分間、または58℃15分間を厳守する。
(温湯消毒した種籾は無菌状態です。浸種は専用の容器で行い、未消毒種子と一緒に浸種しない。)
- ◆品種の取り違え防止のため、浸種・催芽では荷札などを付けて作業する。

●浸種・催芽

1. 浸種水温と日数：11～12℃で7～9日間
 2. 水の交換：2～3日に1回交換する。
 3. 催芽温度：30～32℃
- ※ 催芽状態（はと胸程度）を確認して播種する。

消毒済み種子の取扱い

- ◆消毒済種子の区別
着色剤により色をつけ、未消毒種子と容易に識別できます(右図)。
- ◆消毒薬剤は「**モミガードC・DF**」です。
- ◆消毒済種子のメリット
1. 作業労力軽減 2. 消毒の均一化
3. 薬剤の無駄を省く 4. 環境汚染軽減
- ◆消毒済種子は、紙袋の表面上部及び裏面に記載されています(右図)。



■未消毒の種子



■消毒済のうるち・もちの種子
消毒の方法：モミガードC・DF7.5倍液、乾燥種子重量の3%吹付

●消毒済種子の使用上の注意

1. 塩水選をすると薬剤が落ちるので、塩水選は行わない。
2. 浸種・吸水は、下記の浸種・催芽を参考にする。
3. 浸種の水交換は、静かに行う。
4. 流水や溜め池等での浸種は行わない。
5. 消毒済種子は、食用に供したり、家畜飼料にはできません。余った場合は、必ず適切に処理する。
6. 浸種に使用した水は、用排水路・河川には絶対流さない。
7. 消毒済種子の空き袋は必ず適切に処分し、食用に供するものを入れたりしない。



種子袋の表記について

◆品種区分

1. 種子袋の表面・裏面に品種名を表記しています。
2. 品種の取り違い防止のために品種ごとに異なる色帯線およびクレープ紙の色で区別しています (表2)。

◆生産物審査証明書等については、平成17年の種苗法施行規則改正に伴い、種子袋への印字により表示しています。

◆製品ロットNo.・調製月日は4cm角シール (右図) に記載し、種子袋に貼付しています。ロットNo.でのトレースが可能です。

1. ロットNo.の表示：
「ラインNo.」-「6桁の連番」
(種子調製工場のラインごとに区分しています)
2. 調製日の表示：
「西暦の下2桁」.「月」.「日」



シール
貼付例

1-000011
17.01.26

シール見本

●表2 品種別の帯線色と下部クレープ色●

区分	品 種 名	帯 線 色	下部クレープ色
うるち米	ななつぼし	茶色	—
	ゆめびりか	オレンジ色	—
	ふっくりんこ	—	青色
	おぼろづき	浅葱色	—
	ほしのゆめ	ローズ色	—
	きらら 397	黄色	—
	きたくりん	群青色	—
	ほしまる	白色・点線	—
	大地の星	草色	—
	そらゆき	紫色・点線	—
	ゆきひかり	—	白色
酒米	あやひめ	紫色	—
	吟 風	—	黄色
	慧 星	草色・点線	—
もち米	きたしすく	牡丹色	—
	はくちょうもち	赤色	赤色
	風の子もち	—	赤色
	きたゆきもち	黄色・点線	赤色
	きたふくもち	牡丹・点線	赤色

— は着色なし

◆色帯線品種



ななつぼし
(茶色)



ゆめびりか
(オレンジ)



おぼろづき
(浅葱色)



ほしのゆめ
(ローズ)



きらら397
(黄色)



きたくりん
(群青)



ほしまる
(白点線)



大地の星
(草色)



そらゆき
(紫点線)



あやひめ
(紫)



慧星
(草色点線)



きたしすく
(牡丹色)

◆下部クレープ着色品種



ふっくりんこ
(クレープ青)



ゆきひかり
(クレープ白)



吟風
(クレープ黄色)



はくちょうもち
(帯赤色クレープ赤)



風の子もち
(クレープ赤)



きたゆきもち
(黄点線・クレープ赤)



きたふくもち
(牡丹点線・クレープ赤)

平成30年播種用

採種圃産

水稲種子

平成30年3月

北海道・道総研農業研究本部・ホクレン
北集・北海道米麦改良協会